

ふくよか

地域で支える医療と介護

2024 | 冬号 ■長崎県病院企業団本部
■令和6年1月発行



雲仙の霧氷(妙見岳)

CONTENTS

- P1 ——— 企業長より
- P2 ——— へき地医療貢献者表彰
- P3 ——— 特集1 | 「診療看護師」の育成・確保
- P4 ——— 特集2 | 令和5年度 中堅職員研修
- P5 ——— 特集3 | 上半期の経営状況・第3次中期経営計画
- P6 ——— 第20回「長崎の医療と病院経営を考える会」・病院で働く技能実習生
- P7 ——— BREAK TIME

「ふくよか」の由来

医療人として患者さんに寄り添った会話が自然と出てくるような能力を付けて欲しいとの企業長からの願いが込められています。

令和6年の年頭所感

企業長 米倉正大

辰



明けましておめでとうございます。コロナ感染患者さんの外来受診や入院が落ち着いたとはいえ、暮れからお正月にかけて、入院患者さんや救急患者さんの対応は、どうもご苦労様でした。

さて、病院企業団が設立されてから、丁度節目の15年が経過しようとしています。この15年間、皆さんの頑張りで、その歴史を確実に刻み続けてきました。その二つに医療の質の外部評価があります。企業団の発時点では、電子カルテの導入は、2拠点病院に限られ、当然、DPCによる外部からの機能評価は、全くなされていませんでした。企業団設立から8年後には、すべての病院に電子カルテが導入され、平成27年度にはすべての病院でDPCが導入され、令和4年度に続いて令和5年度のDPC係数も、長崎県内で上位の評価を得ており、皆さんが提供している医療が、間違いなかったことが認めら

れています(表1)。この間、地域で医療を受けることが地域を支えるという『郷診郷創』のスローガンを掲げ、地域の住民にもっと企業団の病院を信頼してもらう努力をしようと頑張りました。また人口減少が進んでいる中でコロナ感染症に見舞われました。本土からの十分な支援のない中で、離島の病院がお互いに支えあいながらこの危機を乗り越えたことは、企業団病院の一体化をさらに強くしました。コロナ感染症が一山超えた現在、各地域で人口減少と重なって病院の機能は、縮小を余儀なくされています。数年前に掲げた『縮小の時代を生き抜く知恵と勇気』というスローガンが、より深刻なものとなって、その波が押し寄せています。人口減少による患者数減は、現実にそれぞれの病院で、統計に表れています。これに職員確保の難しさが、患者さんにも迷惑をかけていますし、病院運営も

圧迫し始めています。数年前から看護師不足は、大きな課題でありました。その状況が長く続いているため、看護師さんの職場環境が厳しくなり、資格が必要でない看護助手の不足も加わって、負の循環に陥っています。これからは人口減少とともに高齢化も加速してきます。当然患者さんも高齢化してくるため、医療と介護の境界線が不明瞭になってきます。介護士や看護助手不足も叫ばれている中で、病院の機能を低下させないためには、今度は『地域で支える医療と介護』というスローガンを立ち上げなければならぬ状況になっていきます。限られたスタッフで、質を落とさない医療の提供は、いくつかの知恵が必要です。高齢者の入院治療は、介護の力を借りながらでないと看護師さんの職場環境が悪化してしまいます。地域の住民の方を啓発しながら、地域で医療と介護を支えるという意



識を行政と一緒にやっていくシステムを作っていくかなければなりません。

話は変わりますが、国もまた組織も、幼年期から成長期を経て成熟期へ、そして衰退期へという循環を繰り返すことは、世の常であります。今から思えば、日本の医療は、戦後20年ぐらいは幼年期で



あつたと思います。昭和40年代から成長期へと移り医療の質も段々と高度化していきました。平成の中ごろから成熟期に入り、令和になりコロナを経て、今、人口減少による働き手の激減と重なって、衰退期に突入しているのではないかと思われます。この時期をしばらく過ごして、再び成長期にはいれるかどうかは、これからの日本人の頑張りにかかっているのではないのでしょうか。この時代をどう生き抜くか、知恵を出しながらの対応になっていくことと思います。皆さんの頑張りに期待したいと思います。

(表1)

令和5年度 DPC(診療報酬)の機能評価係数II 標準病院群(全国1,501病院)における県内病院の順位

順位	医療機関名	係数
1	佐世保市総合医療センター	0.1365
2	長崎県五島中央病院	0.1352
3	長崎県対馬病院	0.1350
4	長崎県上五島病院	0.1307
5	長崎県壱岐病院	0.1283
6	長崎みなとメディカルセンター	0.1246
7	長崎県島原病院	0.1150
8	済生会長崎病院	0.1125
9	佐世保共済病院	0.1093
10	諫早総合病院	0.0982
11	長崎労災病院	0.0973

※長崎大学、長崎医療センター、日赤長崎原爆病院は他のグループになります。

病院企業団のすべての拠点病院は外部からの高い評価を受けました。

へき地医療貢献者表彰

島原病院の山西幹夫副院長が、全国自治体病院協議会等より、へき地等の地域における医療確保に長年貢献された医師として、「へき地医療貢献者表彰」を受賞されました。誠におめでとうございます。

表彰を受け大変光栄に思いつつも、他にも長年にわたり離島勤務をされている先生方もおられる中、恐縮にも感じております。離島勤務12年、島原勤務17年で、地道に使命を果たしてきたことが評価されたのかもしれない。職員の皆様のご支援の賜であり、この場を借りてお礼を申し上げます。



「診療看護師」の育成・確保

診療看護師
(NP)とは

看護系大学院の養成課程(修士)を修了し、資格試験に合格した看護師。
一定の診療(人工呼吸器の離脱など特定行為21区分38行為)ができます。

配置による効果

- 企業団では、平成25年度から「診療看護師」の育成に取り組み、これまで延べ15名に育成資金などを貸与しており、令和6年度には7名の「診療看護師」が企業団病院で勤務される予定です。
- 看護と医学の双方の観点をもつ「診療看護師」を配置し、地域に根差したチーム医療におけるコーディネータ的役割を担ってもらうことで、入院から退院後の一貫した看護や医療を目指しており、患者さんが住み慣れた地域・環境での生活、無理のない在宅療養・治療が維持できることが期待されています。また、タスクシフト・シェアにおいても、患者さんへの一貫したタイムリーな対応が可能となり、医師等の負担軽減が期待されています。
- 臨床以外でも教育・研究活動にも積極的で、講義や学会発表も行っています。

育成支援

企業団病院では、働きながら「自己啓発等休業」を取得して大学院に通うことができ、「診療看護師育成資金(注1)」により入学金や生活費として月額25万円の貸与を受けることができます。また、卒業後も企業団病院(原則自病院)で実務研修(注2)を受けます。(注3)

注1 貸与期間の2倍の期間企業団病院に勤務(実務研修期間を含む)することで返還免除。

注2 実務研修期間も診療看護師手当(月額6万円)が支給。

注3 企業団職員以外の方も貸与可能。

詳細はこちら



確保対策(リクルート活動)

10月の「第9回日本NP学会学術集会(札幌市)」において、企業展示会場のブースで、企業団病院の魅力や看護師への貸与制度について情報発信しました。ブースには養成課程2年生や現役診療看護師など30名以上の皆様が来場し、LINE交換をするなど離島医療への関心の高さがうかがえました。また、学会には企業団病院から庄山・井原・岩本診療看護師らが参加しました。



令和5年度 中堅職員研修

11月28～29日の2日間、長崎市伊王島にあるアイランド・ナガサキにて、病院企業団職員として、必要な組織マネジメントを学び、職員の一人として誇りと責任を持ち、企業団として一体感の醸成を図ることを目的に中堅職員研修を実施しました。対象者は採用後10年以上の31歳から50歳未満の主任・係長で、8病院から看護師、事務、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、管理栄養士、臨床工学技士、薬剤師の計40名の職員が参加しました。

研修目標

- ① 中堅職員として、組織マネジメントについて視野を広げる。
- ② 中堅職員として、管理及び病院経営上求められる自己の役割を明確にする。
- ③ 企業団病院(自施設)の発展のために創意工夫ができる。

研修内容

- 1 米倉 正大 企業長による講話
- 2 講演「企業団病院の現況・公務員サービスについて」 馬場 秀喜 副企業長
- 3 ミニレクチャー「中堅職員の立つ位置について」 貞方 三枝子 看護管理監
- 4 ミニレクチャー「地域の病院として災害にどう準備する」 庄山 由美 主幹
- 5 ワールドカフェ方式*によるグループワーク

※リラックスした空間で少人数の話し合いによる創造的なアイデアを生み出す対話手法



研修レポート

今回の研修で、改めて病院企業団の経営状況を理解し、公務員としての自覚と責任ある行動、自己研鑽について学び、中堅職員としてどのように働くべきかなど自分たちの役割について考えました。また、災害時における行動においても、自施設の災害マニュアルを持参し、他病院の課題についてチェックしながら、情報を共有しました。

研修中、受講者は講話等を熱心に聞き入り、積極的に意見交換を行い、中堅職員らしく頼もしい姿を見ることができました。また、最後に各病院ごとに現状・課題・対策について発表を行いました。

～2日間の研修で学んだことを
日々の業務に生かし
これからも企業団職員一丸となり、
地域で支える医療と介護に
貢献してまいります～



上半期の経営状況・第3次中期経営計画

令和5年12月定例会議会が12月26日に開かれ、議案として、新型コロナウイルス感染症対策や壱岐病院の増築工事等に係る「令和5年度病院事業会計補正予算」、「令和4年度病院事業会計決算」が上程され、可決・認定されました。また、「令和5年度上半期の経営状況」や「第3次中期経営計画(後期計画)の策定」が報告されましたので、今回ご紹介します。

令和5年度上半期(4月～9月)の経営状況

区 分		令和5年度	令和4年度	増 減
患 者 数	入院延数(人)	168,461	170,377	▲1,916
	外来延数(人)	320,374	324,599	▲4,225
医業収益(百万円)	入 院	7,286	7,493	▲207
	外 来	3,874	3,915	▲40
	計	11,160	11,408	▲248

【患者数】入院患者数は壱岐病院・上五島病院等で増加しましたが、五島中央病院・対馬病院等で減少し、全体で1,916名の減(1.1%減)となりました。外来患者数は対馬病院・精神医療センター等で増加しましたが、五島中央病院・上五島病院等で減少し、全体で4,225名の減(1.3%減)となりました。

【医業収益】入院では患者数減、単価減により収益は207百万円の減(2.8%減)、外来では患者数減、単価増により収益は40百万円の減(1.0%減)となりました

第3次中期経営計画(後期計画)の策定

病院企業団では、これまで中期経営計画等を策定し、病院の再編や経営の健全化に取り組んできました。国より新たに「公立病院経営強化プラン」の策定を求められており、現行の「第3次中期経営計画(令和3年度～令和6年度)」に新たな項目を追加し、今年度中に「第3次中期経営計画(後期計画)」として策定することとしています。

取組方針

※下線が追加項目

- ① 地域医療構想における地域での果たすべき役割に沿った医療機能の充実
- ② 著しい人口減少、急激な少子・高齢化を踏まえた医療提供体制の最適化
- ③ 地域包括ケアシステム構築に向けた関係機関との連携強化
- ④ 医療の質の向上を目的に活力ある組織体制の構築
- ⑤ 新興感染症感染拡大時に備えた医療提供体制の強化
- ⑥ 医師・看護師等の確保と働き方改革
- ⑦ 安定した経営基盤の確立

(追加項目)医師・看護師等の働き方改革

適切な労働時間の管理、タスクシフト/シェアの推進、ハラスメントの防止などを追加し、より働きやすい職場環境の整備に取り組みます。

(追加項目)新興感染症感染拡大時に備えた医療提供体制の強化

日頃からの関係機関との連携を図り、新興感染拡大時における診療体制の検討を行い、必要とされる医療の継続的な提供に努めます。

第20回「長崎の医療と病院経営を考える会」

平成16年度から毎年開催されている本会議は20回目。今回は11月15日に長崎市内にて開催し、県内18の公立・公的医療機関の院長・事務責任者など約50名が集まり、経営状況や各種取組について情報共有や意見交換を実施しました。

会議では、長崎大学病院の中尾一彦院長からの講話「長崎大学病院医師の働き方改革」の後、米倉正大企業長による参加医療機関のDPC分析、決算状況、新型コロナウイルス感染症の5類移行後の診療回復状況等を取りまとめた内容について説明がなされ、活発な議論が行われました。



病院で働く技能実習生

企業団では、令和元年度の上五島病院を皮切りに、介護職員としてミャンマーから外国人技能実習生の皆さんを受け入れています。

現在、壱岐病院で4名、対馬病院で2名の技能実習生の皆さんが活躍されていますので、インタビュー形式でご紹介します。

Myanmar



壱岐病院の実習生の皆さん

Q 介護の技能を学ぼうと思ったきっかけは？

A 私は小さい頃から祖母と一緒に暮らしています。祖母は年をとってからよく入院していました。病院では私が祖母の介護をして退院後も自宅でも私が介護をしていました。ですからこの介護について興味を持って、詳しく学んでみようと思って勉強しました。(壱岐病院)

Q 技能実習の経験を活かして考えるあなたの夢は？

A 夢は自分の会社を作ることです。母国に帰ってから、仕事で学んだことを生かしたいと思います。例えば、自分の老人ホームを作ってから、皆さんに仕事について教える先生になりたいです。(壱岐病院)

Q 実習期間でやりたいことや目標があれば教えてください。

A 日本語能力試験をN1まで合格できるように頑張ります。(対馬病院)

Q 実習の中で嬉しかったことは？

A 実習の中で退院した患者様から「ありがとうございます」と「お世話になりました」と言われた時うれしかったです。(壱岐病院)

Q 一緒に働く企業団職員へメッセージをお願いします。

A 言語・文化や意見などが違うことで色々困ったことがありましたが、何時も私たちに理解させてくれ、仕事の事から、大事な日本の生活の事までちゃんと教えてくれて有難うございます。これからももっともっと頑張りますので、宜しくお願いします。(壱岐病院)

日本だけではなくどこに居てもどこで働いても慣れるまでには悩むことや困ることはいっぱいあります。例えば、国と国の違う仕事のコミュニケーション、天気、食べ物、文化、ルール等に慣れるまでは大変ですが、慣れたあとは困ることや悩むことが嬉しいことに変化するので皆さんも頑張ってください。(対馬病院)

これから各病院での活躍が期待されます。今後ともよろしくお祈りします。



対馬病院の実習生の皆さん



長崎の最強の「城」

今年度は、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の登録5周年記念イベントが県内や熊本の各地で開催されています。私は構成資産の1つ、原城跡(南島原市)を久しぶりに訪れました。この城跡は1637年、飢饉と凶作、悪政に苦しむ島原・天草の領民の一揆が起こった城。当時の将軍 徳川家光が約12万余の幕府の大軍を投じたのは、一揆軍の背後に国をも転覆させる勢力に恐れを抱いていたからです。この乱を契機に日本は海外との交易を制限し鎖国体制を完成させました。まさに日本の歴史を変えた城跡です。

今回は、最近お城を取り上げるテレビ番組や雑誌の特集が増えていますが、県教育委員会発行の「中近世城館分布調査報告書(2011年)」などを参考にしながら、県内のおススメの魅力的な城、最強の城を時代毎にご紹介します。県内には姫路城など現存天守が存在する城はなく、石垣からぼりや空堀などが主な遺構であるため、一般の方には分かりづらい城跡ですが、いずれも本県の歴史を物語る貴重な文化財です。

県内唯一の城跡で国の特別史跡(国宝級)となっている金田城(対馬市)は、667年に築かれた古代山城で、万葉集に歌を残した防人さきもりが配置され、唐・新羅からの侵略に備えた国防の最前線となった城です。最近ではゲームのゴーストオブツシマで描かれ話題となった城跡ですが、ゲーム設定の元寇で使われたのかは不明です。石塁は高い所で6m程度と見上げる風景は圧巻で、城跡から浅茅湾を眺める景色も素晴らしいものがあります。

続いて、県内の武士として比較的に早期に成立した松浦党まつらに関係するものとして、佐世保市の直谷城なおやは、標高158m



BREAK TIME



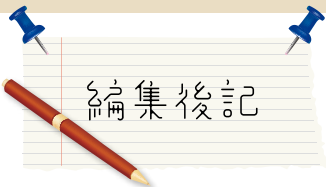
の内裏山の山頂本丸が垂直な自然崖に囲まれるなど天険の地にあり、自然の要害をなしています。この城をはじめとする県下の中世山城は500に近いと言われ、多くは南北朝の争乱期に築城され、戦国時代に拡充された山城が多く、県下の武士団の勢力や性格を反映してそれぞれ個性豊かです。

豊臣秀吉は、大陸への出兵の本営を名護屋城(唐津市)に置き、1592年に九州を中心とする大名に侵攻を命じましたが、この時に築城したのが勝本城(壱岐市)、清水山城(対馬市)です。江戸幕府が開かれると、天領長崎のほか、大村・島原・平戸・五島・対馬など6藩、佐賀藩の諫早・神代・深堀など5領に城館が築かれ、石田城(五島市)、島原城、平戸城などの城跡は現在に至ります。島原城は令和6年に築城400年を迎え、現在様々なイベントが行われています。

最後に、皆様が行ったことのない城跡を探訪される場合は、安全第一で草木が繁茂していない時期をお奨めします。

今回も最後に心に残った一言、昨年旅立たれた谷村新司さんが、825通の応募のあった「ふくしまへの想い」をもとに作詞・作曲された「雲のかなた」の一節、「10年後に空を見上げる私を思い描こう」、今年も皆様にとって良い年でありますように。

(文:副企業長 馬場秀喜)



明けましておめでとうございます。今年の干支は『辰』です。十二支の中で唯一の架空の生き物で、誰が見ても力強さを持っており、「強運」や「お金に困らない」といった言い伝えがあるそうです。今年は20年ぶりに新紙幣の発行も予定されています。景気の良い年になるといいですね。[M.K]

表紙写真提供:(一社)長崎県観光連盟

令和6年1月発行
編集・発行/長崎県病院企業団本部
〒850-0035 長崎市元船町17-1 長崎県大波止ビル7階
TEL.095-825-2255 FAX.095-828-4759
[E-mail] honbu@nagasaki-hosp-agency.or.jp
[URL] http://www.nagasaki-hosp-agency.or.jp

◎上記メールアドレスに記事についてのご意見・ご感想を どんどんお寄せください!

地域で支える医療と介護



長崎県病院企業団

検索

長崎県病院企業団
ホームページ



長崎 Medical
ねっと

